

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 26 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	桜保護管理			
担当課係名	文化財課	桜係	作成者	藤原 眞栄
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画の ページ
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護		
	主要施策	桜の肥培管理		100
予算費目	一般会計	10款 教育費	5項 社会教育費	4目 文化財保護費
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	文化財保護法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	先人達が残してくれた物を大切に護っていくとともに、全国の桜の名所としてふさわしい桜を多くの観光客に見せる。間接的に仙北市に来ることによって、交流人口とともに経済効果を図る。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	名勝指定、天然記念物指定のサクラを良好に管理する。(文化財保護法により管理団体に指定されている。)他市指定のサクラ、指定外の落合公園、落合堤の桜並木の最低限の管理を行う。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	テングス病枝及び枯枝整枝・施肥・草刈・病害虫防除・雪落とし・樹勢回復等の作業を実施する。(賃金：作業員、消耗品：肥料・土壌改良剤・殺虫剤他、使用料及び賃借料：高所作業車、クレーン他)有害鳥獣ウソ駆除委託、樹木保険契約締結を実施する。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	25年度実績	26年度実績	
効果	活動指標	桜管理本数	目標	本	1,500	1,500
			実績	本	1,500	1,500
			達成度	%	100.0%	100.0%
	成果指標	天然記念物(162本) 名勝本数(409本) 計 571本	目標	本	571	571
			実績	本	571	571
			達成度	%	100.0%	100.0%
投下コスト	項 目		総事業費	25年度決算額(千円)	26年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)		—	5,623	5,928	
	人 件 費 (B)		—	8,192	8,540	
	職 員 数		—	1.00	1.00	
	職員平均人件費		—	8,192	8,540	
	(A)+(B) 投下コスト		—	13,815	14,468	
	財源内訳	国庫支出金		—	0	0
		県支出金		—	0	0
		地方債		—	0	0
		その他		—	0	0
		一般財源		—	13,815	14,468
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	9,210	9,645	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	478	510	

【事務事業の今までの成果】

桜管理は欠かすことのできない事業であり、最も安価な直営管理で実施し、市民や140万以上の観光客に良い本物の桜を見ていただいている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	全国自治体に着目され、見本となる事業であるが、先進地の弘前に比し六分の一の小予算である
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	毎年、見事な桜を期待される重圧の中、期待に応えるべく年間を通し励んでいる。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	わずか1週間の開花ではあるが、そのために年間を通して行う維持管理により、名勝に相応しい桜が見られるよう継続して行わなければならない。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	高樹齢にもかかわらず美しい花を保っているのも日ごろの管理の成果が表れている。皆さんに素晴らしい桜並木を観てもらえるよう継続していただきたい。

